

第2回辰野町公立小・中学校あり方検討委員会
ワークショップでの論点整理
令和6年7月9日
事務局

- ◎辰野町の特徴
- ・面積が広く、自然豊か
 - ・辰野町はいいところ でも・・・
 - ・ちょうどいい大きさ
 - ・不自由しない 小さいことがよい
 - ・辰野町は大都市に比べて小さく、そこがいい
 - ・暮らすのに不便はしない
 - ・中心商店街の空洞化との関係

- ◎ 学校、子どもたちの現状
- ・学校が小さくまとまってしまっている
 - ・子どもの数が少ないと、子どもの世界が小さくなる
 - ・少人数から大人数へのギャップ
 - ・通学 遠い、暗い、重い 人数が少ない 登校渋り
 - ・核家庭 子どもの触れ合い少ない 体験不足
 - ・核家庭 かかわり方が苦手 体を動かせない
 - ・人とかかわっていない子どもが増えている



1 こんな学校ができればいいな

- 小中一貫校
- ・3・3・3制 ギャップを減らす
 - ・中1ギャップを緩和できる小中一貫校
 - ・一貫校 各学校の特色を生かした統合を小→中 やってきたことの継続

- 小中高大まで含めての一貫校→辰野モデル
- ・町立一貫校 幼保小中高大

- 1・2・3年は少人数、4・5・6年は大人数 →辰野モデル
- ・多様性、個性を受け入れる
 - ・苦手な子との関係が薄まる

- 魅力ある学校
→町外からの入学者を

- 今以上に開かれた学校
○オープンな学校

- いろいろな選択肢をもつ学校
○いろいろ対応できる学校
○いろいろなニーズに応える学校
- ・学校を自由に選べるシステム 学校の特徴
 - ・多様な子どもたちがそれぞれ楽しめる学校
 - ・子どもが逃げられる場所→AでいじめられたらBへ行く
 - ・何かあった時に逃げ場のある学校 自由に選べる学校
 - ・子どもがつまづいたとき適切な対応を

- 通学での体験
- ・通学（歩く）もとても大切 いろいろな体験
 - ・バスではできない体験
 - ・通学のよさを残した方法
 - ・通学での学び

- 学級数が多い学校
- ・クラスが多い クラスマッチ 行事楽しい 生徒多い
 - ・Z世代 体験不足 クラスの人数設定
 - ・大人数の中で慣れる
 - ・人数が少ないと経験できないことがる
 - ・小さい学校だと子どもは広く育っていくのか

- 元気な学校
- ・先生が元気な学校
 - ・先生に柔軟性のある学校教育
 - ・学校が楽しい
 - ・子どもも親も教師も笑顔あふれる学校
 - ・子どもたちにとって本当に楽しい学校
 - ・学校はにぎやかな場所

- 保育園と小学校の併設

- 通知票いらない



2 子どもたちにこんな学びをさせてあげたい

- 体験を大切にした学び
- ・自然と触れ合う教育
 - ・体験や経験を大切に

- 多様性を大切にした学び
- ・現代のニーズに合った多様性を持ったカリキュラム
 - ・多様性、大人数の中で様々な経験を

- 社会とつながる学び
- ・辰高と商店街の連携 キャリア教育
 - ・人材バンクのようなもの→子どもたちに生き方を学ばせる
 - ・町の真ん中（中心地）でいろいろできたら
 - ・世のなか科の設立 社会とつながる学習

- ・皆が同じレベルの学習ができる学校
- ・子どもたちに同じような学力をつけてほしい



3 地域はどのようにかかわったらよいか

- 子どもと大人の触れ合いを大切に
- ・評議員・役員が楽しい、子どもと触れ合える→もっとチャンスを
 - ・小学生と大人の触れ合い
 - ・学校の中に公民館を

- 地域の思い、特色
- ・村単位の学校 地域が許さない
 - ・保小を地元に残したい 地元の思い
 - ・住んでいる地区の特色を
 - ・地域で子どもを育てる

- 放課後のあり方
- ・親の働きやすさ→学童
 - ・学童のあり方 地域の方の協力
 - ・学校終了後の学びの確保

- 町の取組として
- ・子どもを増やす方法を考えた
 - ・学校のことを考える前に、子どもを増やすことを考えたい
 - ・町のイメージを高めて子どもを増やす
 - ・子どもの居場所→子どもが増える
 - ・土地の問題→家が建てられない

- あり方検討委員会の進め方、答申の方向性、討議の内容
- ・時間軸が遅すぎる スピード感をもって
 - ・早くから先を見通して進める
 - ・学年10人以上なら存続すべし
 - ・特色ある学校は残す
 - ・統合なら大きな目標をもって進むべき
 - ・児童生徒数だけで学校を判断せず、中身を考えて
 - ・立場が異なるので学校を見る視点がバラバラ→町が方針を出して、それに対しての意見を→町としての指針があって意見を求める
 - ・もっと教育委員会がリードを
 - ・こういう学校にしたいをまず出してほしい
 - ・統合ではないあり方は成り立つのか